

令和 7 年 5 月 26 日

令和 6 年度 学校関係者評価委員会報告書

広島県東部美容専門学校
学校関係者評価委員会

広島県東部美容専門学校 学校関係者評価委員会は、令和 6 年度における評価委員会を下記のとおり開催し、学校関係者評価を実施しましたので報告致します。

記

1 開催日時：令和 7 年 5 月 26 日（月） 11：10～11：40

2 場 所：広島県東部美容専門学校 新館 1 階 視聴覚教室

3 出席者：7 名

学校関係者評価委員

沖田 元恵 （おきだ美容室 経営者）
（学校法人広島県東部美容学園 理事長）
池田 誠 （有限会社メリー 代表取締役）
（学校法人広島県東部美容学園 副理事長）
村上 淑興 （珊瑚美容室 経営者）
（学校法人広島県東部美容学園 理事）
小山 静代 （こやま美容室 経営者）
（学校法人広島県東部美容学園 理事）
河村 智恵美 （ヘアサロン梢 経営者）
（学校法人広島県東部美容学園 理事）

校長：桑田 悅子

事務局：杉野 果歩（担当職員）

4 学校関係者評価委員会報告

別紙のとおり

評価項目	評価	評価項目	評価
I 教育理念・目的・育成人材像	4	VI教育環境	4
II 学校運営	4	VII学生の受入れ募集	4
III教育活動	4	VIII財務	5
IV学修成果	4	IX法令等の遵守	5
V 学生支援	4	X社会貢献・地域貢献	4

【 評価基準 5：良好 4：適切 3：概ね適切 2：やや不適切 1：不適切 】

I 教育理念・目的・育成人材像

	評価項目	評価
(1)	学校のビジョン及びそれを実現するための方策を策定し、尚且つ教職員に理解されているか	4
(2)	特色ある学校づくりを進めるために、求められる仕事及び人間性を明確にし、学校独自のカラーを出しているか	4
(3)	社会のニーズを踏まえた将来構想を抱いているか	4
(4)	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが、学生・保護者・関係業界等に周知がなされているか	4
(5)	教育目標、育成人材は学科等に対する業界のニーズに向けて方向付けられているか	4

課題

- ・少子化に伴い、より一層特色のある学校づくりが必要である。
- ・社会に出て折れない自主性の指導。
- ・個人個人の考え方に関して差異が生じている点があるのではないかと思う。
- ・一人の社会人として活躍できる人材育成。

今後の改善策

- ・生徒に求められる専門学校となるべく、社会のニーズ・生徒のニーズを的確にとらえた将来構想のもとに学校づくりを進めていく。
- ・人間力をつけること。強いばかりでなく、優しさ、逞しさ。
- ・考え方の一致の徹底。
- ・厳しいことをあまり言わっていない学生が多いが、社会で通用するためにも愛情を持った厳しさでの指導を引き続き行う。

II 学校運営

	評価項目	評価
(1)	学校の目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
(2)	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
(3)	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
(4)	人事、給与に関する規程等は整備されているか	4
(5)	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
(6)	教職員の健康診断を実施しているか	5
(7)	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
(8)	各種システム化等により業務の効率化が図られているか	4
(9)	ホームページは適宜更新し、見やすくしているか	5
(10)	学校評価を組織的に実施し、評価結果を教職員に周知するとともに、改善計画を策定しているか	4
(11)	学校運営及び評価の結果を学校関係者以外に、何らかの方法で公表しているか	4
<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校運営及び評価の見える化、どう公表するか。 ・教師分担してお互いに協力し合ってやって行くこと。 ・業務の効率化。 ・業務のシステム化（教務システムの導入等）。 <p>今後の改善策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現場のことはよくわからないけれど、安心しています。 ・共有できるものは活用。無駄をなくす。 ・システム化されることで業務多面面が緩和し、スマート化できるのではないか。 ・今年度WEB出願システムを導入済み。さらに教務システムを導入し、WEB出願システムの情報を連携すれば効率化が図れる。 		

III 教育活動

	評価項目	評価
(1)	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
(2)	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
(3)	カリキュラムは体系的に編成されているか	4
(4)	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発等が実行されているか	4
(5)	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
(6)	関連分野における実践的な職業教育（インターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	5
(7)	授業評価の実施・評価体制はあるか	4
(8)	職業教育等に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
(9)	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
(10)	資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
(11)	人材育成目標に向け、授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4
(12)	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成等資質向上のための取組が行われているか	4
(13)	職員の能力開発のための研修が行われているか	4
(14)	研修や出張で学会等に参加した成果を他の教職員に還元する仕組みがあるか	5

課題

- ・より実践的な職業教育のための業界団体との連携の取り方。
- ・教員各自（個人）のレベルアップ。 •教員の補充。
- ・試験等に対して考え方の相違がある。

今後の改善策

- ・教員同志の意志強化。 •引き続き求人募集を行う。
- ・より学生の理解が得られるような指導方法の意見交換を行っていく。
- ・試験実施の意味の統一。

IV学修成果

	評価項目	評価
(1)	就職率の向上が図られているか	4
(2)	資格取得率の向上が図られているか	4
(3)	中途退学者の低減が図られているか	3
(4)	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4
(5)	卒業後のキャリア形式への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4

課題

- ・資格取得や就職に対する意識、意欲が下がってきてている。
- ・学力、技術の低い学生ほど勉強、練習をしない。
- ・中途退学者が例年数名いる。　　・途中リタイア者を防ぐ。卒業後の様子。
- ・卒業生の状況把握が不十分である。

今後の改善策

- ・常に目的意識（短い目標、長い目標いずれも）を明確に日々誘導する必要がある。
- ・学生とのコミュニケーションをとる。
- ・学生のレベルによってグループ分けを行う（少人数制をうたっているため）など指導方法を工夫。
- ・早い段階（手遅れになる前に）で保護者に伝えて協力いただき、連携しながら学力、技術の向上に努める。
- ・学生の日常生活・疲労度（深入りしない程度に）卒業生のサポート。
- ・卒業生サポート体制の構築とサポートシステムの導入。

V学生支援

	評価項目	評価
(1)	学生生活、進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
(2)	学生相談に関する体制は整備されているか	4
(3)	奨学金等の経済的支援体制が整備されているか	5
(4)	学生の心身面での健康管理体制が整備されているか	4

(5)	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
(6)	保護者と適切に連携しているか	4
(7)	卒業生への再教育、または就職支援体制はあるか	4
(8)	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4

課題

- ・体力、意志の強化。
- ・モチベーションが低い学生の増加。
- ・卒業生の状況把握が不十分である。

今後の改善策

- ・社会人、美容師としての役割。
- ・美容の世界の楽しさ、大切さの教育。
- ・美容師としてだけでなく、社会人としての役割についてもしっかり考える機会を設ける。
- ・卒業生サポート体制の構築とサポートシステムの導入。

VII 教育環境

	評価項目	評価
(1)	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
(2)	学内外の実習施設、インターンシップの場等について十分な教育体制を整備しているか	4
(3)	防災に対する体制は整備されているか	4

課題

- ・施設、設備の老朽化。
- ・不具合が多くなっている。

今後の改善策

- ・改築か新築か、人口減の時代に向けて。(現在、理事会、評議員会にて検討中)

VII学生の受入れ募集

	評価項目	評価
(1)	高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取組を行っているか	4
(2)	学生募集活動は、適正に行われているか	4
(3)	学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか	4
(4)	学生納付金は妥当なものとなっているか	5

課題

- ・オープンスクール、学校訪問等でカバー。
- ・広報活動が少ない分、学内オープンスクールでカバーしている。
- ・学納金について物価上昇により教材設定に苦慮。

今後の改善策

- ・引き続き高校訪問で卒業生、在校生の状況をお伝えし、本校の特徴をお知らせする。
- ・引き続きオープンスクール内容の充実を図る。
- ・学納金の増額は？ 本人、父兄に負担大。

VIII財務

	評価項目	評価
(1)	予算計画、年間行事計画を策定し、適正な予算の執行・進捗管理を行っているか	5
(2)	財務について会計監査が適正に行われているか	5
(3)	財務情報公開の体制整備はできているか	5

課題

- ・適正に行われていると思う。

今後の改善策

- ・現状維持。

IX 法令等の遵守

	評価項目	評価
(1)	法令や専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	5
(2)	学生指導において、学生に対して人権への配慮がされているか	5
(3)	学生、非常勤講師や教職員等の個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	5
(4)	自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
(5)	自己評価結果を外部に対して公表しているか	4

課題

- ・教師と学生のあり方。
- ・多様化する学生対応に困惑している。

今後の改善策

- ・保護者またはサロンオーナーとの連携。

X 社会貢献・地域貢献

	評価項目	評価
(1)	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
(2)	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3
(3)	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等含む）の受託等を積極的に実施しているか	4

課題

- ・地域とのつながりの深め方、連携の取り方を如何に進めていくのか。
- ・学生と地域のあり方、取り組み方。
- ・地域での活動が出来ていない。
- ・高校等から要請があれば行っているが、積極的には行えていない。

今後の改善策

- ・何ができるか。教師、学生と共に課題として話し合ってみるのも一つ。
- ・できるだけお役に立てることがあれば貢献できるようにする。
- ・要請を受けた際、なるべく実行できるよう検討は行うが要請依頼時期などにより困難なこともある。引き続き要請、検討を繰り返すしかないと考える。
- ・近くの介護施設等へのアプローチを検討することを考える。